

子どもの読書環境充実の考え方について

中野区教育委員会では、「中野区子ども読書活動推進計画(第3次)」に基づき子どもの読書活動を推進してきている。この度、子どもの読書環境の充実を図るため、ブックスタート事業及び地域開放型学校図書館の利用についての考え方を整理したので報告する。

1 ブックスタート事業

(1) 目的

0歳児を養育する保護者に絵本を配布し、親子等で絵本を楽しむきっかけづくりを行う。

(2) 事業内容

3か月児健康診査の対象者(約2,500人)あてに引換券を送付し、各図書館で絵本とバッグのセットと引き換える。あわせて、各図書館における小さい子向けおはなし会の拡充、乳幼児向け図書の充実などにより、乳幼児親子の図書館利用促進を図る。

(3) 開始予定時期

令和2年(2020年)10月1日

2 地域開放型学校図書館の利用

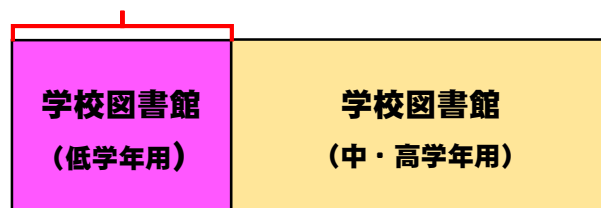
(1) 目的

- ・学校図書館の地域開放による乳幼児など子どもの読書環境向上
- ・学校図書館機能の充実

(2) 事業概要(運用等について一部見直し)

		当初案	見直し案
運営形態		区立図書館分館	学校図書館
開設時間	平日	9-20時	(13-17時) 事業実施時のみ
	土日祝	9-20時	9-17時
	長期休業	9-20時	9-17時
追加蔵書数		5,000冊 絵本・児童・一般	2,000冊 絵本・児童書
蔵書の貸出		実施	実施しない
予約図書の受取・返却		実施	実施しない

地域開放型学校図書館



(3) 開設予定時期

令和2年9月 みなみの小 美鳩小

令和3年4月 中野第一小

(4) 地域開放型学校図書館の一部見直しの必要性

・学校図書館機能の充実

新学習指導要領で学校図書館の充実・活用を推進することとされたが、限りのある学校施設環境の下で学校図書館本来の機能強化を図るためには、地域開放型学校図書館の機能や運営を見直し、低学年用図書スペースを確保するなど教育課程や児童読書活動に利用できる環境を整備する必要がある。

・乳幼児など子どもの読書環境の充実

「子ども読書活動推進計画(第3次)」では、「子ども時代から、読書に親しみ、読書の習慣を身につけることは、まさに人生をより深く生きる力を獲得すること」として、特に、乳幼児期の読書活動の重要性を取り上げている。しかしながら、外出がしづらい乳幼児の子育て家庭では、身近な通える距離で安心して絵本とふれあう機会を確保しづらい状況であるため、身近な地域の中で子どもの読書環境の充実を図る必要がある。